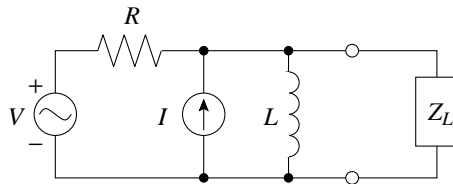


## H19 年度電気回路 II 宿題 (第 7 回)

### 課題

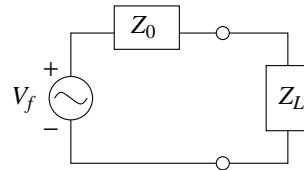
以下の回路を考え、負荷  $Z_L$  で消費される実消費電力を最大にしたい。ただし、 $f = 50 \text{ Hz}$ 、 $R = 3 \Omega$ 、 $L = \frac{1}{25\pi} \text{ H}$ 、 $V = 10 \text{ V}$ 、 $I = 10 \text{ A}$  とする。以下の 2 通りの場合に対して、実消費電力を最大にする回路 (回路図と素子値) およびそのときの消費電力を求めよ。

1. 負荷  $Z_L$  が抵抗  $R_L$  である場合、実消費電力を  $R_L$  の関数として表現し、微分を用いて最適値を求める。
2. 負荷  $Z_L$  が抵抗  $R_L$ 、コイル  $L_L$ 、コンデンサ  $C_L$  の組合せとして表される場合、最大電力伝送定理を用いて負荷  $Z_L$  の最適値を求め、実際の回路で表現する。

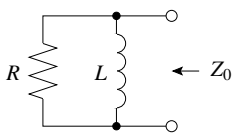


### 解答

まず、負荷より左側を下図のようにテブナン等価回路で置き換える。



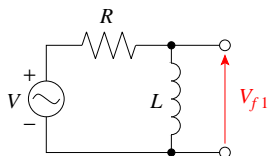
内部インピーダンス  $Z_0$  は下図の回路を考え



$$\begin{aligned} Z_0 &= R // (j\omega L) = \frac{j\omega LR}{R + j\omega L} = \frac{j12}{3 + j4} = \frac{j12(3 - j4)}{25} \\ &= \frac{48 + j36}{25} = R_0 + jX_0 \end{aligned}$$

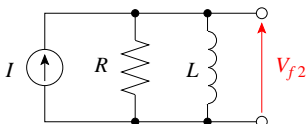
開放電圧  $V_f$  は、重ね合わせの理より

- $V$  のみのとき、下図の回路より



$$V_{f1} = \frac{j\omega L}{R + j\omega L} V$$

- $I$  のみのとき、下図の回路より



$$V_{f2} = \frac{j\omega L R I}{R + j\omega L} V$$

したがって

$$V_f = V_{f1} + V_{f2} = \frac{j\omega L(V + RI)}{R + j\omega L} = \frac{j160}{3 + j4}$$

この結果をもとに設問に答える。

1.  $Z_L = R_L$  のとき，負荷に流れる電流，かかる電圧，実消費電力は

$$I_L = \frac{V_f}{(R_0 + R_L) + jX_0}$$
$$V_L = \frac{(R_L V_f)}{(R_0 + R_L) + jX_0}$$
$$P = \operatorname{Re}\{V_L^* I_L\} = \frac{R_L |V_f|^2}{(R_0 + R_L)^2 + X_0^2}$$

新たに  $f(R_L) = 1/P$  という関数を定義し，これを  $R_L$  で微分すると

$$f(R_L) = \frac{1}{|V_f|^2} \left( R_L + 2R_0 + \frac{R_0^2 + X_0^2}{R_L} \right)$$
$$\frac{\partial f(R_L)}{\partial R_L} = \frac{1}{|V_f|^2} \left( 1 - \frac{R_0^2 + X_0^2}{R_L^2} \right)$$

微分が 0 となるのは

$$R_L = \sqrt{R_0^2 + X_0^2} = |Z_0| = \frac{12}{\sqrt{3^2 + 4^2}} = \frac{12}{5} \Omega$$

のときであり，このとき  $f(R_L)$  は最小，したがって， $P$  は最大となる． $P$  の最大値  $P_{\max}$  は

$$P_{\max} = \frac{\frac{12}{5} \cdot \frac{160^2}{3^2 + 4^2}}{\left( \frac{48}{25} + \frac{12}{5} \right)^2 + \left( \frac{36}{25} \right)^2} = \frac{\frac{12 \cdot 160^2}{5 \cdot 25}}{\frac{108^2 + 36^2}{25^2}} = \frac{60 \cdot 160^2}{2^4 \cdot 3^6 + 2^4 \cdot 3^4} = \frac{60 \cdot 2^8 \cdot 10^2}{2^4 \cdot 3^4 (9 + 1)}$$
$$= \frac{3200}{27} \text{ W} \simeq 118.5 \text{ W}$$

2. 最大電力伝送定理より， $Z_L$  の最適値は

$$Z_{L,opt} = Z_0^* = R_0 - jX_0 = \frac{48 - j36}{25}$$

これは  $R_L$  と  $C_L$  の直列接続で実現でき

$$Z_L = R_L + \frac{1}{j\omega C_L} = \frac{48}{25} + \frac{36}{j25}$$

となるように， $R_L$  と  $C_L$  の値を決めると

$$R_{L,opt} = \frac{48}{25} \Omega$$
$$C_{L,opt} = \frac{1}{144\pi} \text{ F}$$

このときの実消費電力  $P_{\max}$  は

$$P_{\max} = \frac{|V_f|^2}{4R_0} = \frac{160^2}{3^2 + 4^2} \cdot \frac{25}{4 \cdot 48} = \frac{400}{3} \text{ W} = 133.3 \text{ W}$$